

第二十三回全国青少年武徳祭に参加して

形意和真流唐手道 武学館 小学五年 亀尾 龍平

七月十六日、京都市武道センター旧武徳殿で武徳祭がありました。今年は三十八度を超す猛暑の中、選手は約八十人参加しました。武徳殿内でも選手の体調を考えて水分補給を多目にとりました。

武学館の出番は二番目で、選手は全員で「四法」と「八歩打五〇八」、「八歩打相對」をしました。僕は後輩や特に先輩に負けにくいぐらいの声を出すことを心掛けました。

その他の道場の選手は刀を使った居合道や違う流派の空手で切れのある演武でした。僕の知らない演武をしている選手もいるんだなあ、と勉強になりました。

まずは、武学館の先輩からほめられるようになり、後輩のこともほめて手本になれるような選手になれたらいいなと思いました。

第二十三回青少年武徳祭に参加して

一心無双流剣心会 小田 朱乃

武徳祭前に台風が来て京都がかなり被害を受けていたので、どうなるか心配でした。当日は当日で熱中症になる人が出てこないか心配になる暑さで大変でした。前回は道場から一人で出るのは私しかいませんでしたが、今回は私の他にも一人を出ている人が二人いたので仲間がいるとほっとしました。ただ一番最後で、なおかつ他の流派の先生が声をかけて励ましてくださったのですが、かえって自分の出番が近づくとすごく緊張してしまいました。そして自分の出番では、斬る巻藁がいつもの巻藁の大きさより1〜2割大きくしてありましたが無事、怪我も

なく納刀もできたので良かったです。そして、空手や柔術は武徳祭のような機会が無いと見ることができないので、とても面白かったです。来年もまた出たいです。

個人奨励賞を受賞して

こばと修童館 中村 姫梨

私は第二十三回青少年武徳祭に出場しました。私がこの大会に出るのは今回で二回目です。初めて出場した時は個人優秀賞と団体優秀賞を受賞しました。でも今年は、個人奨励賞と、団体で団体奨励賞を受賞しました。去年に比べると成績が落ちてしまったので悔しい思いもありました。今回の演武で少し失敗をしてしまったので、この失敗でみんなの足をひっぱってしまいました。でもきっとこの失敗を直せばいい演武になると思うので、この失敗を活かし、これからの日々の稽古を今まで以上に頑張って来年また出場したいと思います。

失敗を生かして

こばと修童館 野村 侑芽加

私は、個人努力賞を取れてよかったです。演武の途中で、さげが落ちてしまつて「これは賞が取れないな」と思っていたけど、結果、賞が取れてよかったです。居合は、小学校一年生から習い始めて今年で六年目です。この六年間、先生に教えてもらったことを、今年の大会に活かすことができたのでよかったです。だけど、少しの失敗で全部を出し切れなかったことが残念です。

来年は、先生に教えてもらったことを、全て大会に出し切りたいと思います。また、小学校六年生なので、中学校一年、二年と、参加できるところまで、この全国青少年武徳祭に参加して、いろんな人に居合のよさを伝えていき、さらに世界の人たちにも居合のことを伝えていきたいです。

青少年武徳祭に参加して

正守和道塾 小学五年 近藤 佑樹

七月十六日、旧武徳殿で第二十三回青少年武徳祭が行われました。僕が初めて参加したのは、空手を始めたばかりの小二の時です。その時は、大会に出るのが初めてで、とても緊張しました。でも、四歳上の兄が一緒だったので、兄を真似て頑張って練習しました。兄と参加したのはその時だけですが、昨年からは弟と一緒に参加しています。兄弟と一緒に演武出来るのは武徳祭だけなので、いい思い出になったと思います。

青少年武徳祭では、毎年色々な形を演武しています。形を覚えるのはとても楽しくて、覚えた形を練習し、毎年演武できるのもとても楽しいです。正守和道塾は、今年はいつもし少ない五人の参加で、それぞれが決めた形を演武しました。僕は、八方技と棒と權を演武しました。棒と權では力が入りすぎ、満足いく形がうてず残念な気持ちでした。でも、団体努力賞をいただくことができ、とても嬉しかったです。

上村先生は、いつも、空手のことだけでなく、色々な話をして下さいます。「文武両道」は、徳の心と武道を持つことだと教えてくださいました。僕は、先生や先輩方に教えていただいたことを自分のものにできるように、一生懸命練習し、それを極めていきたいと思っています。

二〇二十年には京都で世界武徳祭が行われます。それに向けて、道場の仲間と共に、空手だけでなく自分自身が成長していけるように努力していきたいと思っています。

うれしい団体努力賞

正守和道塾 小学三年 近藤 圭真

七月十六日、旧武徳殿で青少年武徳祭がありました。ぼくたち正守和道塾は、芳賀ひろとくん、芳賀まなみちゃん、中村るきくん、ぼくのお兄ちゃん、ぼくの五人で空手の演武をしました。ぼくは、八方技と平安五段とバツサイダイをうちました。ぼくが一番小さいので、お兄ちゃんたちに合わせられるか、少し心配でした。札をきちんとすることや声をしっかり出すことも心がけました。バツサイダイは汗で少しすべってしまいました。でも、みんなががんばったので、団体努力賞をもらうことができました。とてももうれしかったです。来年も賞がもらえるように、もっともつとがんばりたいと思いました。

全国青少年武徳祭に参加して

至誠館 小学五年 伊藤 結月

私は、古武道の大会を終えて、とても達成感を感じました。私は今年の四月から古武道を始めたので、今回が初めての大会でした。古武道を始めたきっかけは、もともと歴史が好きで、武道にきょう味を持っていたところに、妹が入学式でぼ集のチラシをもらってきたことです。

武徳殿に着いた時、大きくてすぐく立ばな建物だったのでおどろきました。最初は少しきんちようしたけれど、ものすごく暑かったので、会場に入ってからはそのことをすっかり忘れていました。他の人の演武を見ている間ずっと正ざしていたので、足がしびれてしまって、自分の演武がしっかりできるか心配でした。そして、いよいよ本番。忘れていたきんちよう感をまた感じました。一か所だけ間違えてしまったけれど、練習の成果が発揮できたと思います。

そして結果。団体賞がとれました。私は個人賞がとれなかったので、もつとがんばろうと思いました。たくさん練習をして、上手になりたいです。

大会の帰りに抹茶アイスクリームを食べました。がんばった後の冷たいアイスは格別だったけれど、暑さのせいですごくとけやすく、着ていたポロシャツがしみだらけになってしまいました。

初めての大会ですごくきんちようしたり、少しハプニングがあったりしたけれど、無事に終わることができて良かったなと思いました。次の大会はもぞう刀を持って出られるようにがんばりたいです。

もらえなかった個人賞

至誠館 小学四年 中村 周平

今年の全国青少年武徳祭も暑かったです。その中で、ぼくは目指していた個人賞をもらうことができませんでした。

模擬刀を持って全国青少年武徳祭に出るのは、二回目でした。去年よりも模擬刀を上手にあつかえるようになってきたと思います。ぼくが演武をする場所は角でした。先生から、角は「すごく目立つ場所」と何度も言われていました。後はいがたくさんできて、先ばいとして演武するのだと思って、一生懸命古い古しきました。でも、緊張しすぎて、どうどうと演武することができませんでした。だから、賞をもらうことができなかったと思います。

来年は、緊張に負けずにどうどうと演武をしたいと思っています。そして、一番上の団体賞と個人賞を取りたいと思います。

全国青少年武徳祭を終えて

至誠館 上野 航輝

七月十六日に全国青少年武徳祭が行われました。この日のために練習をたくさんしました。その練習でかなり技が整ったと思いました。そして当日はとても暑く、とくに京都はとても暑かったです。そして、武徳祭が始まり、他の人達のえんぶは、とても迫力があり、すごかったと思いました。ごぎを切るえんぶもありました。キレイに切れていたの、とても感心しました。そして、自分達の出番が来た時は、きんちようしました。それでも失敗はしませんでした。練習の成果が出たと思いました。残念ながら、最優秀賞は取れませんでした。自分なりに出来たと思います。ひょうしように式の時は、個人賞がなくて残念でした。でも、まだまだ練習して上手になれると思うので、張りきって練習したいと思います。

平安神宮奉納

至誠館 渡邊 大也

私は、初めて平安神宮奉納をさせて頂きました。今まで経験している祓いの儀や納めの儀と違うことが沢山ありました。入退場が、祓いの儀、納めの儀共に練習もでき、自分たちの演武のときと同じなのに対し、平安神宮奉納は練習ができず、また、経験した人でないと足を踏み入れない場所での奉納である事は稽古だけでは想像できない事もありました。中でも一番感じられたのは演武と奉納の違いでした。演武と違って奉納では、人に見られていると感じられませんでした。自分の演武を見ているのは先生方や選手というより神様だと思いました。何故なら、不思議な空間にいるように感じたからです。無力な自分との戦い。緊張する

余裕もなく、弱い自分から逃げずに丁寧に真剣に一刀ずつ振り切る。できないことをできるように見せる背伸びや見せかけの技が通用しない。今の自分と正面から向き合うとはこういう事なのかもしれないと思いました。

ぶとくさい

至誠館 桐山 初香

えんぶがはじまったとき、すこしきんちようしました。ねん中の子と一年生の子とえんぶをいっしょにしました。まえはすこし足をまちがえたけど、こんかいはまちがえずにえんぶができました。らいねんはもつとじょうずになつてトロフィーをとりたかったです。

模擬刀の武徳祭

至誠館 榊原 優那

私は今回の武徳祭で、初めて模擬刀を持って参加しました。模擬刀は難しく、上手く抜けなかつたりしていたのですが、しっかり合わせる事が出来て嬉しかったです。来年、私は中学生になります。今年小学生最後の武徳祭なので緊張していましたが、しっかりと練習で頑張ったことを実践出来たので良かったと思っています。

次に来たときは、もっと上手くなっているように頑張ります。

初めての武徳祭

日本戸山流居合道 小学五年 向井 友悟

今回初めて全国青少年武徳祭に参加しました。居合道の大会だと思っていたけど、空手や柔術の選手たちがいました。個人の選手より団体の選手が多かったです。ぼくは個人だったのでとてもきんちようしました。だけどぼくの中では全力をだきつたのでよかったです。ほかの選手はぼくよりもつと上だったので、くやしかったです。表彰では努力賞だったので残念だったけど初めて参加で賞がとれたのでよかったです。

第二十三回全国青少年武徳祭に参加して

拳正会 小屋 陽平

平成三〇年七月十六日(祝)に、第二十三回全国青少年武徳祭が、旧武徳殿に行われました。

我が拳正会からは、A・Bの2チームが参加致しましたが、僕はBチームに選ばれ演武する事になりました。少年武徳祭には、これまでに、二回参加させて頂きました。今回の武徳祭では、初めて平安神宮内陣での奉納演武を納める大役を務めさせて頂く事になりました。このお話を頂いた時から、僕にその様な大役が務める事が出来るのか、夜も眠れない程とても不安になりました。

当日、奉納演武を行うまでの時間は、とても緊張していましたが、師範の「これまでの練習通りに」という言葉を思い出して、神前に向かいました。神前に立

ち、型の構えを取る時に、息をゆっくり吐くと、気持ち落ち着き精一杯演武をする事が出来ました。

僕にこの大役を任せて下さった先生方に感謝し、無事に演武を努め、席に戻った時には今までに感じた事が無い、達成感で胸がいっぱいになりました。

団体演武では、出場が近付くにつれて、皆の緊張が伝わって来ましたが、演武が始まると練習以上に気合いが入り、皆の息の合った最高の演武が行えたと思います。

昨年に続き、本年も拳正会が団体優秀賞を頂きました。これからもより一層の努力をし、来年も頂けるように頑張つて参ります。これからもより一層の

今後、僕の後輩にもこの様な良い経験を沢山して欲しいと思います。

